

アジア発のデザイン理論の構築と実践に向けた基礎研究

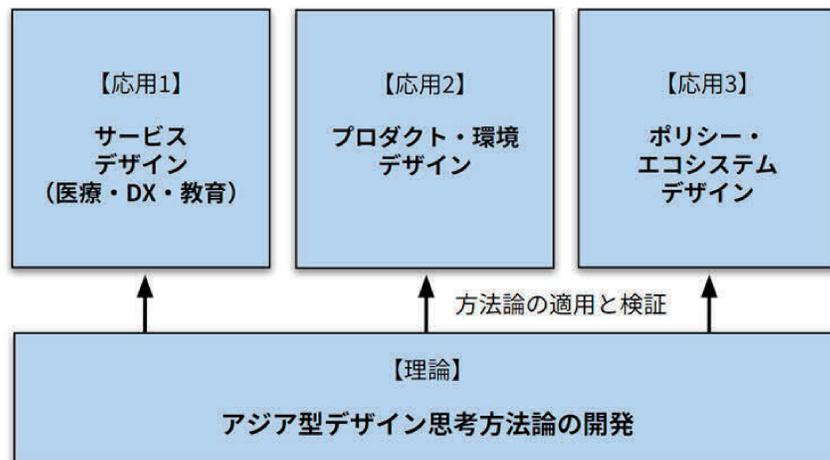
研究推進機構 総合研究院 共創型デザインイノベーション研究部門

▶ 研究概要

本研究部門は、アジア発のデザイン思考方法論を本学から生み出し、領域横断的な「やっかいな問題」の解決に向けた理論の適用とその検証をおこなうことを目的とした研究部門です。

本研究部門の活動には、以下のような特徴と目標があります：

- アジア特有の視点と文化を取り入れた、独自のデザイン思考方法論の開発
- 工学と社会科学の融合アプローチによる研究推進
- アジア地域の国際研究拠点との連携強化
- 「アジア発のデザイン思考方法論」の構築と、その成果の世界への発信
- 企業や自治体が直面する「やっかいな問題」に取り組む産学連携プロジェクトの実施
- 研究成果の社会実装を通じた起業家支援や実務的・実践的な貢献 など



▶ 研究開発成果

今年度からスタートした本研究部門では、シンガポール工科大学（SUTD）と教育研究連携協定を結び、既にさまざまな活動を共同で進めています。



経営学部国際デザイン経営学科および先進工学部研究科とSUTDによる教育研究連携協定の締結（2023/02～）



2024年5月15日にSUTDにおいて開催された Design Innovation Forum へ参加と“Global Design Alliance”への参画（2024/05～）

▶ 今後の展開

今後、SUTDとの連携をさらに深め、以下のような連携を重ねつつ、2026年度には本学とSUTDの共催で国際シンポジウムを開催予定です。

- 先進工学部機能デザイン工学科所属メンバーとSUTD教員による共同研究の推進（進行中）
- 経営学部国際デザイン経営学科所属メンバーとSUTD教員による共同研究の推進（協議中）
- デザイン学に関する英文書籍の共同執筆・出版（協議中）
- 2026年度にTUS & SUTD共催で国際シンポジウムを開催予定（場所は本学を予定） など

【連絡先】 研究部門長（経営学部国際デザイン経営学科）
柿原 正郎
masao.kakihara@rs.tus.ac.jp